資料６

３　各圏域の施策の方向

みやぎ観光振興会議の各圏域会議における委員からの観光を巡る現状と課題、施策の方向性についての意見を次のとおり取りまとめました。

各圏域において、それぞれの特性に応じた施策を推進しながら、他圏域への横展開や圏域間の連携を図り、県全体の観光振興に向けて一体的に取り組んでいきます。

仙南圏域

（白石市、角田市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町）

～～いいっちゃね、みやぎ仙南！「みやぎ蔵王」ブランドを広域で推進！～～

仙南圏域の概要

○ 仙南圏域は、県南部に位置し、西部は山形県に、南部は福島県に、北部と東部は仙台圏域に接する。西部の蔵王連峰から東向きになだらかな丘陵地帯が広がっており、東部及び南部は阿武隈山地に囲まれている。また、丘陵部を縫って流れる白石川、阿武隈川の流域に盆地が形成されており、起伏に富んだ多様な地形が特徴である。

○ 管内人口は，158,074 人（令和６年４月１日現在推計人口）で、令和３年４月１日と比較すると 7,073 人減少しており（減少率 4.28%）、管内多くの市町で県平均を上回る人口減少率となっており、人口減少、高齢化が進んでいる。~~166,529 人（令和２年国勢調査）で、平成 27 年国勢調査と比較すると 10,663 人減（減少率 6.02%）と、管内多くの市町で県平均を上回る人口減少率となっており、人口減少、高齢化が顕著である。~~

○ 蔵王連峰や阿武隈川流域の自然や温泉などを活かした観光関連の商業・サービス業が盛んである。~~産業は蔵王連峰や阿武隈川流域の自然や温泉などを活かした観光関連の商業・サービス業が盛んである。~~農林畜産業も盛んで、米・大豆・麦、野菜・果樹などの園芸、酪農・養豚などの畜産、たけのこ・きのこなどの特用林産物といった多様な生産活動が営まれている。~~農林畜産業では稲・大豆・麦を生産する水田農業のほか、野菜・果樹等の園芸作物、酪農・養豚等の畜産、たけのこ・きのこ等の特用林産物など、多様な生産活動が営まれている。~~首都圏にも近いことから、東北自動車道等のインターチェンジ周辺には製造業を中心とした企業集積が進んでいる。

圏域の観光の現状・課題

① 圏域内及び隣接地域への周遊促進

東西南北四方の約 60km に及ぶ広い圏域に、自然・景観、レクリエーション施設、温泉・宿泊施設、歴史施設等、多様な観光資源が点在しているが、各市町の持つ強みを有機的に組み合わせて周遊を促進していくためには、二次交通の充実や山形、福島の隣県を含む広域的な連携強化に加え、それぞれの資源が持つ魅力を引き出し、高める努力が必要である。~~二次交通の充実が課題であり、山形・福島の隣県を含めた、観光資源間の面的な周遊促進が必要である。~~

② 圏域内宿泊の及び観光消費額の拡大

団体観光客の減少など観光需要の変化もあり、宿泊者数が未だコロナ禍前の水準に戻っていない中、宿泊客は県内客が過半数を占め、宿泊数は１泊が多い傾向にあることから、滞在日数を伸ばす周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実を図るとともに、昨今の人手不足を踏まえ、宿泊者数の増加だけでなく、土産物など物販の開発や魅力の磨き上げにより、消費者の満足度を高めることで、観光消費額の拡大を目指していく必要がある。~~が必要である。~~

③ インバウンドの誘致強化

「白石川堤一目千本桜」や、「蔵王エコーライン雪の壁」、「樹氷ツアー」、「白石城」、「宮城蔵王キツネ村」など、インバウンド観光客が好んで訪れるコンテンツが多い反面、仙台圏域に宿泊し、日帰りで仙南圏域を観光するケースが多いことから、仙南圏域内に宿泊・周遊してもらうため、タイムリーな情報発信とともに、や観光地での多言語表示やガイドなどの、等、情報提供手段の整備などが必要である。

圏域の施策の方向性及び取組

＜計画期間で対応が必要な取組＞

① 仙南圏域の象徴「みやぎ蔵王」をはじめとする圏域の多彩な観光資源を活用した広域周遊促進

○ みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議を通じた産学官連携による「みやぎ蔵王」ブランドの確立及び活用~~における観光振興に向けた事業立案~~

○ 「みやぎ蔵王温泉郷」や「蔵王ジオパーク構想」、や「みやぎ蔵王ハーモニー花回廊」~~、「みやぎ蔵王温泉郷」~~など仙南圏域独自の観光資源と、農畜産物・郷土食・スイーツなど食をテーマにした広域周遊策の展開

○ 山形県置賜地域・福島県県北地域との県境連携推進や隣接地域とのテーマ性を有した観光ルートの造成

○ 宮城オルレ村田コース及び新規造成コースなど等の新たな地域資源の整備・発掘~~発掘及び磨き上げ~~

○ 既存資源を含む圏域内コンテンツの整理・磨き上げ及び情報発信

② 旅行需要の変化に対応した宿泊スタイル、滞在型メニューの充実や教育旅行の誘致

○ 多様な泉質を有する「みやぎ蔵王温泉郷」の各温泉地の特色を生かしながら、スリープ（快眠）ツーリズム、ファスティング（断食）ツーリズムなど新たなニーズに訴求する高付加価値化の取組を推進

○ 古民家や別荘を活用した「田舎暮らし」体験など、長期滞在やワーケーション受入れ体制の強化

○ 圏域での自然体験、「宮城オルレ」~~「みちのく潮風トレイル」「奥州街道、おとぎ街道」~~「仙南サイクルツーリズム」「奥州街道、おとぎ街道」をテーマにしたハイキング~~やサイクリング~~などのアクティビティ体験、「白石城甲冑体験」「こけし絵付け体験」「陶芸体験」などの文化的体験を組み合わせた「アドベンチャーツーリズム」を活用し、『ここだけ（地域限定）』、『今だけ（時期限定）』を前面に出した滞在型コンテンツの磨き上げ

○ 隣接する沿岸地域~~宮城県名亘地域~~の「震災遺構」と蔵王ジオパーク構想などが連携した教育旅行プログラムの造成及び誘致

③ 仙南圏域の特色ある観光コンテンツを活用したインバウンド観光客の誘客促進

○ 「桜」、「樹氷、雪の壁、や雪、ウインタースポーツ」、「温泉」、「こけし」、「ハイキング」、「アドベンチャーツーリズム」など、圏域独自のキラーコンテンツを活用した情報発信のさらなる強化~~モデルルートの造成~~

○ 古民家や別荘を活用した「田舎暮らし」体験など等、インバウンド観光客のニーズや嗜好に合った長期滞在型宿泊の情報発信

○ ガイドブック、観光施設、ＳＮＳなど等の多言語案内表示などの情報提供手段の整備

○ 令和７年11月に本県で開催予定の「アジア・トレイルズ・カンファレンス」を契機とする、オルレなどインバウンド向けコンテンツの魅力発信及び継続的な誘客促進

○ 旅マエだけでなく、飲食、物販、観光、イベント、交通など旅ナカ（現地）で必要な情報を提供するための、ＳＮＳや店内ＰＯＰなどを活用した情報発信

特色ある観光コンテンツ

蔵王御釜
（蔵王町・川崎町・七ヶ宿町）

蔵王刈田岳、熊野岳、五色岳の３峰に抱かれたエメラルドグリーンの火口湖

白石川堤一目千本桜
（大河原町・柴田町）

約 100 年前から植樹されている、白石川沿い 8km にわたる 1,200 本余りの桜並木

宮城オルレ村田コース
（村田町）

四季折々の大自然と意匠的な蔵の町並みに残る歴史を辿る、宮城オルレ５番目のコース

白石城甲冑体験
（白石市）

全国で５城のみ木造復元された白石城内で、戦国武将を体感できる本格甲冑体験